待降節の第4日曜日

ルカ1・39-45

今日は、待降節の第4日曜日です。この日曜日で待降節が終わります。今週はいよいよクリスマスです。

私は毎晩府中駅周辺を歩いていますが、とても美しいイルミネーションやデコレーションを目にします。それだけでなく、多くの人がたくさんのプレゼントを買っていることにも気づきました。これらのプレゼントは、友人、両親、恋人などに届けられるのではないかと思います。 これらの光景を見ていますとクリスマスはキリスト教だけのものではなく、地球上のすべての人々のためのものだと強く私は感じています。

私が今年のクリスマスに贈りたいものは、皆さんがよく知っている普通のものです。**何だと思いますか。**それは英語の4つのアルファベットの文字です。

第一はアルファベットの**R**で始まる言葉です。

R - espectです。これは尊敬を意味します。誰もが尊敬されなければなりません。たとえば私たちは、お互いを尊敬し合わなければなりません。社会の中で最も小さな人間であっても尊敬しなければなりません。人間は物ではありません。誰もが神からの贈り物なのですから、すべての人を尊敬しなければなりません。

第二はアルファベットの「**O**」で始まる言葉です。

O - penness.です。開放性という意味になります。あらゆる可能性に対してオープンであることです。言い換えれば、キリストへの信仰を人生の強固な基盤とし、特に他人との関係において、あらゆることに柔軟になるということです。柔軟であることで私は批判を受け入れることができます。なぜなら、批判は私に自分を客観的に見ようと言う強い決意を与えます。批判を柔軟に受け止めることによって私は人間としてより強くなり成長することができるからです。柔軟であることで、批判をアドバイスと受けとめることができます。他の人が私にしてほしいと思うことはすべて受け入れることができます。

第三はアルファベットの「**S**」で始まる言葉です。

S - ensitivityです． これは感受性をもつこと、敏感であることを意味します。私が他者の気持ちを感じ取り、理解することです。もし、誰かが怒っていたら、怒りを感じ取り、その人の怒りが静まるように祈り、怒りが治まるのを邪魔しないことです。

第四はアルファベットの「**E**」で始まる言葉です。

E - mpathyです。共感するという意味です。他の人の気持ちに喜んで加わり、共に感じることです。もし誰かが悲しんでいるときも、私はその人の悲しみを笑いません。もしその人が泣いているなら、私も一緒に泣きます。

これらの４つのアルファベットを組み合わせるとどうなるでしょうか。

今日の福音書では、聖母マリアが訪ねてきたとき、エリザベトが大きな声で言いました。**「あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。」**ルカ１・４４。マリアは、いとこのエリザベトに、「救い主である神を喜び讃える」（ルカ１・47）ことで、自分の人生の喜びを分かち合いました。主の母に迎えられたという出来事は、エリザベトが生涯を通じて受け取った最大の贈り物の一つです。

エリザベトはマリアが語ったことを、主の降誕によって実際に見て、触れて、味わって、聞くことになります。クリスマスの喜びは続きました。

イエスは、喜びを分け与えることからその生涯を始めました。今日の福音書はイエスが生まれる前から、イエスの存在は人々に喜びをもたらしたことを語っています。

マリアがエリザベトに喜びを伝えたように、私たちもすべての人々に喜びを伝えることができます。私たちは**ROSE**の贈り物を贈ることができます。

R　は、お互いに尊敬の念をプレゼントすることです。

O　は、神とお互いに対してオープンであることをプレゼントすることです。

S は、他の人、特に私たちの隣にいる人に感受性をもち、そのひとが必要としていることを与えることです。

E は、お互いに共感し合うことです。特に多くの困難や試練に苦しんでいる人々に共感という贈り物をすることです。

私たちはクリスマスからはじまるこの一年、**「ROSE」**をお互いに分かち合いましょう。